

# 平成22年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	都市緑化事業(街路樹整備)～道路の森づくり～																										
予算額	25,000千円	新規・継続の別	継続																								
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠																								
担当課	緑地管理課 (222-3586)																										
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市では、都市緑化の推進を図り、「環境モデル都市・京都」にふさわしい街路樹に被われた「道路の森づくり」を目指し、低木植栽のみとなっている道路の中央分離帯に新たに高木を植栽している。</p> <p>これまでの整備状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>区間</th> <th>区間長(km)</th> <th>内容</th> <th>工事費(予算額) (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H20</td> <td>堀川通(五条通～松原通)</td> <td>0.3</td> <td>ケヤキ 12本</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>堀川通(松原通～御池通)</td> <td>1.3</td> <td>ケヤキ 64本</td> <td>24,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>[事業概要]</p> <p>平成22年度の整備(予定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>整備区間</th> <th>区間長(km)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川端通(今出川通～冷泉通間)</td> <td>1.5</td> <td>ケヤキ 70～80本</td> </tr> <tr> <td>北大路通(東大路通～叡山電鉄間)</td> <td>0.3</td> <td>サルスベリ 15本</td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</p>				年度	区間	区間長(km)	内容	工事費(予算額) (千円)	H20	堀川通(五条通～松原通)	0.3	ケヤキ 12本	3,000	H21	堀川通(松原通～御池通)	1.3	ケヤキ 64本	24,500	整備区間	区間長(km)	内容	川端通(今出川通～冷泉通間)	1.5	ケヤキ 70～80本	北大路通(東大路通～叡山電鉄間)	0.3	サルスベリ 15本
年度	区間	区間長(km)	内容	工事費(予算額) (千円)																							
H20	堀川通(五条通～松原通)	0.3	ケヤキ 12本	3,000																							
H21	堀川通(松原通～御池通)	1.3	ケヤキ 64本	24,500																							
整備区間	区間長(km)	内容																									
川端通(今出川通～冷泉通間)	1.5	ケヤキ 70～80本																									
北大路通(東大路通～叡山電鉄間)	0.3	サルスベリ 15本																									

# 平成22年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	市民の記念植樹奨励制度		
予算額	1,700千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	水と緑環境部 緑政課 (222-3589)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>環境モデル都市である京都市において、緑の果たす役割はより一層重要になってきている。</p> <p>市民の記念植樹奨励制度は、「京都市緑の基本計画」に基づき、市民及び事業者と行政との協働による緑化推進の取組の一環として実施するもので、市民の緑への関心や愛着を形として表現するとともに、市民との協働によって潤いのある緑豊かなまちづくりの実現を目指すものである。</p> <p>[事業概要]</p> <p>結婚、出産、還暦など人生の節目や、企業の創立等を記念した植樹を奨励する制度を創設する。植栽費の一部は市民や企業に負担していただき、京都市は樹木の維持管理を行う。</p> <p>植樹場所：宝が池公園          負担金：1口1万円（1口から受け付ける。5口単位で1本の植樹を行う。）          その他：樹木には植樹記念プレートを設置する。</p>			
<p>[参考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <p>同様の制度を、政令市では神戸市、新潟市が実施している。</p>			

# 平成22年度 京都市予算案 事業概要

建設局

事務事業名	無電柱化等事業		
予 算 額	<b>606,000千円</b> 上七軒通 167,000千円 松原通 213,000千円 京都京北線他(上賀茂神社 周辺) 6,500千円 宝が池通 219,500千円	新規・継続の別	継 続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	道路環境整備課 (222-3570) 上七軒通, 松原通, 京都京北線他 道路建設課(222-3577) 宝が池通		
<p>[ 事業実施に至る経過・背景など ]</p> <p>京都市では、安全で快適な歩行空間の確保、災害時の避難・輸送経路の確保、情報通信ネットワークの信頼性の向上、京都らしい景観の保全・再生などを目的として、伝統的な町並みを有する地域を中心に、電線類の地中化を推進している。</p> <p><b>上七軒通</b>                  上七軒通を含むエリアは、京都では最も歴史の古い花街で、北野天満宮の門前町の賑わいと芸能文化の発展に寄与し、優雅で落ち着きのある町並みを形成している。京都市では、平成13年8月に、上七軒通を含むエリアを上京北野界わい景観整備地区に指定し、平成21年11月には歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定を受け、無電柱化推進計画に基づき電線類を地中化し、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上及び都市災害の防止を図る。</p> <p><b>松原通（清水坂）</b>                  松原通（清水坂）は、清水寺から東大路通まで、京都有数の観光地である清水地区を横断する路線であり、無電柱化推進計画に基づき電線類を地中化し、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上及び都市災害の防止を図る。</p> <p><b>京都京北線他（上賀茂神社周辺）</b>                  京都京北線は、御園橋から上賀茂神社一ノ鳥居前の交差点を経て神社の西を北へ向かう、景観安全の両面で重要な路線であり、無電柱化推進計画に基づき電線類を地中化し、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上及び都市災害の防止を図る。</p> <p><b>市道宝が池通（平成21年度2月補正予算）</b>                  宝が池通は北山通との交差点南側が五山の送り火の一つである妙の視点場となっており、眺望空間保全区域に指定されている。しかしながら、上空を電線類が横断し、景観が損なわれているため、無電柱化推進計画に基づき電線類を地中化し、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上及び都市災害の防止を図る。</p>			

[ 事業概要 ]

平成 22 年度の整備

市道翔鸞緯 7 号線 (上七軒通)

事業区間：上京区毘沙門町 (上七軒交差点) ~ 社家長屋町 (北野天満宮東門)

道路延長・幅員：L = 310m W = 3.5 ~ 5.0m

電線共同溝延長：L = 310m

施行年度：平成 20 年度 ~ 平成 24 年度

今後のスケジュール (予定)

- ・平成 22 年度 電線共同溝本体工事
- ・平成 23 年度 石畳風アスファルト舗装及び照明灯等工事
- ・平成 24 年度 周辺関連工事等

市道松原通

事業区間：京都市東山区清水一丁目 (清水寺) ~ 東山区清水四丁目 (東大路通)

道路延長・幅員：L = 600m W = 4.0 ~ 5.0m

電線共同溝延長：L = 600m

施行年度：平成 21 年度 ~ 平成 23 年度

今後のスケジュール (予定)

- ・平成 22 年度 電線共同溝本体工事 (清水寺 ~ 産寧坂西側間 L = 300m)
- ・平成 23 年度 電線共同溝本体工事 (産寧坂西側 ~ 東大路通間 L = 300m)

主要府道京都京北線他 (上賀茂神社周辺)

事業区間：北区上賀茂朝露ヶ原町他地内

道路延長・幅員：L = 350m W = 9.6m

電線共同溝延長：L = 350m

平成 22 年度事業内容：電線共同溝予備設計

市道宝が池通

事業区間：左京区松ヶ崎芝本町 (北山通交差点) ~ 松ヶ崎西池ノ町内町 (狐坂手前)

道路延長・幅員：L = 350m W = 16.5 ~ 19.5m

電線共同溝延長：L = 350m

施行年度：平成 21 年度 ~ 平成 23 年度

今後のスケジュール (予定)

- ・平成 22 年度 電線共同溝本体工事，道路改良工事等
- ・平成 23 年度 測量 (道路区域決定)

[ 参 考 (他都市の状況・事業効果など) ]

松原通の清水寺から産寧坂間については，文化財とその周辺を守る防災水利整備事業 (まちづくり交付金事業) と一体的に整備を進めていく予定である。